

令和6年度第1回大郷町総合教育会議 会議録

日時：令和7年1月27日（月）

午後1時20分～

場所：大郷町役場3階第3委員会室

【出席者】

（教育委員会）

教育長・武藤職務代理・高橋（幸）委員・高橋（賢）委員

角田学校教育課長・片倉社会教育課長・金指導主事

（町長部局）

田中町長・熊谷総務課長・上杉補佐

【欠席者】

（教育委員会）

及川委員

1. 開 会 【進行】 熊谷総務課長 (13:20)

2. あいさつ 田中町長
(省略)

3. 議 題 運営規則第3条により町長が議長となり進行
(1) 新教育大綱（教育等の振興に関する施策の大綱）について

議 長 「(1) 新教育大綱（教育等の振興に関する施策の大綱）について」を
事務局から説明願う。

事 務 局 総合教育会議の位置づけや運営規則、開催実績について及び現大綱の
位置づけについて説明。

現大綱は平成29年度の当会議において、県にならう形で「教育振興計画」をもって大綱に位置づけすることを承認されており、計画期間は令和6年度までとなっており、新たな大綱が必要となる。また、大綱の元となっている町の教育振興基本計画の計画期間も令和6年度までとなっており、現在、教育委員会において改めて策定を行っている。新たな教育振興基本計画に基づいて、改めて令和7年度から10年間の教育大綱を策定するもの。

議 長 議題(1)について、意見があれば願います。

教 育 長 町の情勢と切り離しはできない。人口減少が一番の問題となっている。

武藤職務代理 人口減少、具体化していったらといったことを、町民が考える機会を発信していかないと難しくなっている。

高橋(幸)委員 10年ぶりの改定ということだが、10年前とどう変わったのか。

角田学校教育課長 大綱の下に基本計画があって、相互に準じた内容となっている。詳細はこのあとの定例会で説明する。内容はざっくり見ているところが多く、県の基本計画や町の総合計画を尊重した内容となる。文言の整理、時系列で終了しているようなものは削除した。大幅な変更はなく、継続としたい。

武藤職務代理 基本的な項目はこれでいい。あとは人口減少にどのように取り組んでいくか。町民への共有はどうやっていくか。長期的な考えを示していかないと。子育て世代が「町外から来てもいい」と思われるようなアピール、他には無いものをアピールしていく姿勢を。幼・小・中学校から大学までを見据えた町の協力があってもよい。

高橋(賢)委員 令和6年度の出生数が20人に満たない。全体が減っているため、移住してもらおうことも。親が住みやすさで居住地を選ぶため、人口が少ない分、何かに特化した、大郷町にはこういったものがあるといった強みがないと集まりにくい。例えば、サッカーをやりたいのであれば大郷町にといったような。

高橋(幸)委員 施設、「あれ欲しい、これ欲しい」は自由だが、まちづくりは町と議会の話し合いで決まっていく。考え方を新しくする上でも、町長や議員に定年制度があれば、若い人の意見を取り入れやすくなると思う。若い人の考えが正しいとは言えないが、そういった人たちが上がってくると良いのかなと。

武藤職務代理 重点施策の11相談体制の推進について、親の困っていることに対応できるように、充実させて相談体制を取ってほしい。

4. その他

別紙「令和5年度の児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」について、学校教育課長より情報提供。

5. 閉会あいさつ 鳥海教育長

(15:05)